

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念及び経営目標を会社2階の会議室に掲示し、社内で共有、実施を行っている。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・一般廃棄物の収集運搬という公共性の高い業務を行っている為、廃棄物処理法や浄化槽法など業務に関連する法律について各部門ごとに最新の情報や通知関係などを共有している。 ・資格取得の機会や研修会などには、積極的に従業員を参加させる様にしている。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・公正な取引を行うよう、理事会及び監査で監視体制を取っている。 ・職務に連関して自己の利益を図り、または他より不当な金品を借用し、もしくは贈与を受けるなど不正な行為を行わないようしている。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・全部門に責任者を配置し、緊急時の全社員への連絡体制を作っている。 ・一般廃棄物収集運搬業務が滞らないように、予備人員を確保し日々の業務に取り組んでいる。 ・熊本県中小企業連合会と連携をし企業活動を行っている。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・社内での会議において知的財産に関する情報を共有し、知的財産の保護に取り組んでいる。 ・USBは、責任者が管理している貸し出し用USBのみ使用できるようにし、使用後は中のデータを完全に消去して知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・在職中のみならず退職後においても、個人情報保護法の定める主旨、手続き義務等に基づき、業務上の個人情報(社員の雇用管理情報等)、職務上知り得た秘密等(顧客、取引先の情報等)などは他に漏らしたり、ほかの目的に利用させない様就業規則で定めている。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・一般廃棄物収集運搬業務という事業が、ステークホルダーに及ぼす影響が大きいことを把握し、しっかりと行政や関係各所とは連携をしている。 ・緊急連絡先等を行政の方へ渡し、災害時や緊急時に出動できる体制をとっている。																	16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・社内ではBCP計画に乗っ取って災害時の備蓄、社屋の補修工事などを実行している。 ・し尿、浄化槽の方では、熊本県環境事業団体連合会が平成19年に県と協定を締結し、災害廃棄物(ゴミ)の方では、熊本県清掃事業協同組合が平成29年に県と協定を締結している。県内市町村と実施細目協定を締結している。								9		11		13.1					16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・事業承継を見据え、後継者の資格取得、研修会への参加などを行っている。							8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		・フェアトレード認証のバナナペーパーで製作している名刺を使用している。	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・各種ハラスメント等人格的威儀を侵す行為を就業規則で禁止している。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・社内に労働安全衛生委員会を設置し、毎月会議を行い業務の中の課題などを話し合っている。 ・熊本県労働基準協会の各種講習会・教育事業にも積極的に参加させている。		3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金ガイドラインに沿って、従業員(正社員、継続雇用の社員、期間雇用の社員)の公正な待遇を行っている。				5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・有給休暇は積極的に取得を促し、家庭と仕事の両立をとれるような業務体制をとっている。 ・業務の効率化により残業をしないようにしている。		3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・個々が活躍できるように、業務に必要な知識や技能を高め、資質の向上を図るために必要な教育訓練を行っている。		4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・従業員には、毎年1回の健康診断時にオプションの希望が出来る検査項目(腹部超音波、前立腺検査、骨密度検査、乳房超音波、乳房X線、子宮頸がん検診、肝炎ウイルス、メタボリック、ビロリク検査)を自分自身で選んでいただいて、会社が費用を全額助成している。		3				8										17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・定年退職後も希望があれば1年毎に、再雇用の契約を実施している。 ・定年の年齢を65歳まで引き上げ、70歳までの就労機会を作っている。			4.4	5.1 5.5			8.5 10.2 10.3									16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・社内での新型コロナ対策に関する作業指示書を作成している。 ・オンライン講習会などを有効活用し、資格取得などを実施している。		3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・システムの入替により、作業の効率化やペーパーレス化を実現している。						8	9.1		11	12								
	21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。	●				3	4				8	9		12								

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・天草市での資源化が可能な「あわせ産廃」を社内でも周知し、資源物の分別を徹底している。			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1	
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・太陽熱温水器を導入し自然の熱で温水が出る様にしている。 ・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、昼休憩時使用していない職場の消灯などに取り組んでいる。							7.3							13			
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、社内のエアコンと室外機を旧型から新型に転換し温室効果ガスの削減を行っている。	2.4					7.2 7.3 7.a						12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・洗車による排水が側溝に流れ、田畠や河川の水質を汚濁する可能性を防ぐ為に会社内での洗車を禁止し、ガソリンスタンドで洗車する様に取り決めている。 ・社内の側溝には、油脂吸着シートを設置し油脂類が流出しない様にしている。					6.6									14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・4Rを実践し、循環型社会形成推進のため社内での分別、減量での廃棄物抑制並びに、適正処理を推進するため廃棄物処理法などの勉強をしている。 ・裏紙の使用やペーパーレス化、乾電池使用の機器を充電式に買い替えなどしている。							9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社内で使用している浄化槽の放流先の影響や生態系の影響など、業務で得ている知識を活用し水資源の質の保全に取り組んでいる。 ・雨水を貯留タンクに貯め、車両を拭いたりするときに活用している。 ・トイレの洗剤は浄化槽に優しい商品を使用し放流水に影響が出ない様にしている。	2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・EVトラックをリース購入し令和4年10月1日より資源物の収集で運用している。 ・フェアトレード商品のバナナペーパーを名刺の紙として使用している。							9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・熊本県から発信される食品ロスの情報を従業員に周知したり、肥後銀行のフードロス解消アプリ「かせする」を従業員に紹介し、食品ロスの削減に役立つ情報を社内で発信している。	1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・社内の花壇に季節の花を植栽している。										11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・社内の照明全てをLEDに転換している。 ・太陽熱温水器を使用している。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・協業組合本渡清掃公社創立50周年事業の一環として天草市に紅葉1000本の植樹寄贈を(西ノ久保公園、道の駅宮地岳周辺、他)行っている。				6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解にくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・令和4年10月1日からEVトラックをリース購入し資源物収集で運用している。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●												7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 協業組合 本渡清掃公社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・公益財団法人 日本環境整備教育センターや一般財団法人 日本環境衛生センターなどの講習会や研修会に参加し業務の品質向上をしている。			3.9						9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・社内のトイレを和式から洋式トイレに変更し、誰もが使いやすい環境にしている。 ・階段に手すりを設置している。									9.1	10	11.7						17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3	2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●									7					12.2	13.1			15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●				2.3	2.4						8.2	9.2		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・天草市社会福祉協議会と天草市地域福祉ネットワーク事業の協定を締結し、地域住民の方の何らかの異変を察知した場合、天草市社会福祉協議会に連絡、通報をする取り組みをしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災・減災・レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップを全社員が確認出来る所に掲示し第一次避難場所、第二次避難場所の確認、会社付近の土砂災害警戒区域など、避難行動計画や事前防災対策を進めている。				4							11.5		13.1			16			
	45	【防災・減災・レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・数名の社員が消防団に所属。地域の消防団から業務中出動要請があった場合、出動できるよう会社内でも融通が利くように対策している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●												9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場連携授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・天草市から環境学習の要請があった場合は、パッカー車・EVトラックを持って行き環境学習の協力をしている。				4					8.6		10.2						17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●						4.4						8.5	8.6							17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3	4.4	4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。